

おまえざき

# 市議会だより

第57号

2019. 1.2.3月

令和元年5月発行

- ② 2月議会定例会
- ⑥ 本会議質疑・委員会質疑
- ⑧ 一般質問
- ⑬ 委員会報告
- ⑮ 視察研修



◀学び歩きマップ



▲旧妙音庵薬師堂薬師三尊

旧妙音庵薬師堂



豊受神社



▲大日如来座像

大日寺

## 朝比奈の由来

古来書によると、昔、朝比奈地区の地形が「母衣」つまり武士が流れ矢を防いだ武具の形に似ていることから、「母衣ヶ谷地区」とも言われている。

また朝夷（朝比奈）村起源説によると、「朝夷」の地名は「陽のさす処」を意味している。岡部町朝夷村、千葉県朝夷郡、茨城県稲敷郡朝夷村など全国4ヶ所に同じ朝夷の地名を見ることができる。また、この地が「朝夷但馬守」の領土で江戸時代660石の知行となっていた。

# 2月議会定例会

2月定例会を2月20日から3月20日までの29日間の会期で開会しました。

## ■ 2月議会定例会で審議した議案等

議案番号	件名	概要	審議結果
議案第1号	御前崎市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	働き方改革推進法が改正され、罰則付きの時間外労働の上限規制等が導入されることになったことから、「正規の勤務時間以外の時間における勤務」について、新たに規則委任できる規定を追加する等の改正を行うもの	全員一致で可決
議案第2号	御前崎市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例の制定について	本年度の人事院勧告に基づき、初任給調整手当が改正になったことから、「医師特別手当の勤務期間区分の35年以上の月額」について改正するもの	全員一致で可決
議案第3号	御前崎市個人情報保護条例の一部を改正する条例の制定について	行政機関個人情報保護法等改正法の趣旨を踏まえ、地域の実情に応じた適切な個人情報保護対策を行うため、個人識別符号や要配慮個人情報の定義を明確化する規定を設けるとともに、関係条文の改正を行うもの	全員一致で可決
議案第4号	御前崎市情報公開条例の一部を改正する条例の制定について	行政機関個人情報保護法等改正法の施行により、本条例に規定されている不開示情報のうち、個人に関する情報を明確化する改正を行うもの	全員一致で可決
議案第5号	御前崎市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	地方税法の一部改正により、国民健康保険税の基礎課税額の課税限度額を「54万円」から「58万円」に改正するもの	全員一致で可決
議案第6号	御前崎市水道事業に係る布設工事監督者及び水道技術管理者の資格等を定める条例の一部を改正する条例の制定について	水道法施行規則の一部を改正する省令に基づき、技術士法における技術士試験の選択科目が見直されたことから、本条例の「水道環境」という文言を削除する改正を行うもの	全員一致で可決
議案第7号	御前崎市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	消防団員の不足から、団員定数を11人減の333人とするとともに、団員の種類に機能別団員を新設し、機能別団員の手当等、分限及び年額報酬について規定するもの	全員一致で可決
議案第8号	人権擁護委員候補者の推薦につき議会の意見を求めることについて	人権擁護委員の候補者に、 <small>おおもりよしはる</small> 大森祥晴氏（朝比奈地区）を推薦	全員一致で可決
議案第9号	静岡地方税滞納整理機構規約の一部を変更する規約について	地方税法の一部改正により自動車取得税が廃止され、軽自動車税環境性能割が導入されることから、規約の内、同税に係る申告書処理等事務の規定を変更するもの	全員一致で可決

議案番号	件名	概要	審議結果
議案第10号	平成30年度御前崎市一般会計予算の補正(第5号)について	中学校整備事業等により13億2,274万6千円を増額し、総額を184億1,797万3千円とする補正	賛成多数で可決
議案第11号	平成30年度御前崎市国民健康保険特別会計予算の補正(第3号)について	各事業確定見込みにより1億1,180万円を増額し、総額を41億4,570万5千円とする補正	賛成多数で可決
議案第12号	平成30年度御前崎市後期高齢者医療保険特別会計予算の補正(第1号)について	事業確定見込みにより227万8千円を減額し、総額を3億3,102万2千円とする補正	賛成多数で可決
議案第13号	平成30年度御前崎市介護保険特別会計予算の補正(第2号)について	事業確定見込みにより4,156万1千円を減額し、総額を27億6,985万4千円とする補正	賛成多数で可決
議案第14号	平成30年度御前崎市池新田西財産区特別会計予算の補正(第1号)について	事業確定見込みにより500万円を減額し、総額を1,603万円とする補正	全員一致で可決
議案第15号	平成31年度御前崎市一般会計予算について	「美しい自然を次世代へ引き継ぐ安全・安心なまち」「すべての人が健康で安心して暮らせる支え合うまち」等の6つの重点施策を推進する、前年度より1億2,000万円減額の169億1,000万円	賛成多数で可決
議案第16号	平成31年度御前崎市国民健康保険特別会計予算について	一般被保険者療養給付費等の増額により、前年度比較1億8,400万円増の41億2,000万円	賛成多数で可決
議案第17号	平成31年度御前崎市後期高齢者医療保険特別会計予算について	後期高齢者医療広域連合納付金の減額により、前年度比較410万円減の3億2,920万円	賛成多数で可決
議案第18号	平成31年度御前崎市介護保険特別会計予算について	居宅介護サービス費の増額により、前年度比較2,153万1千円増の27億335万円	賛成多数で可決
議案第19号	平成31年度御前崎市工業団地建設事業特別会計予算について	計画策定委託料の計上により、前年度比較2,700万円増の2,706万円	賛成多数で可決
議案第20号	平成31年度御前崎市水道事業会計予算について	水道事業費用(第3条)は特別損失の減額により、前年度比較202万円減の9億9,317万5千円、資本的支出(第4条)は建設改良費の増額により、前年度比較1億3,784万5千円増の4億379万3千円	全員一致で可決
議案第21号	平成31年度御前崎市下水道事業会計予算について	下水道事業費用(第3条)は13億4,977万3千円。その内、下水道事業は8億1,034万8千円、農業集落排水事業は5億3,942万5千円。資本的支出(第4条)は4億9,464万2千円	全員一致で可決

議案番号	件名	概要	審議結果
議案第22号	平成31年度御前崎市病院事業会計予算について	病院事業費用（第3条）は医業費用等の増額により、前年度比較2億5,388万円増の55億5,860万円、資本的支出（第4条）は建設改良費の減額により、前年度比較4億9,108万円減の3億807万円	全員一致で可決
議案第23号	平成31年度御前崎市池新田財産区特別会計予算について	諸支出金を増額、総務費の減額により、前年度比較1,000万円増の8,500万円	賛成多数で可決
議案第24号	平成31年度御前崎市池新田西財産区特別会計予算について	諸支出金等の減額により、前年度比較903万円減の1,200万円	賛成多数で可決
議案第25号	平成31年度御前崎市佐倉財産区特別会計予算について	総務費を増額、予備費の減額により、前年度比較10万円減の700万円	賛成多数で可決
議案第26号	平成31年度御前崎市比木財産区特別会計予算について	総務費等の増額により、前年度比較190万円増の350万円	賛成多数で可決
議案第27号	平成31年度御前崎市新野財産区特別会計予算について	総務費を減額、諸支出金等の増額により、前年度比較1万円増の95万円	賛成多数で可決
議案第28号	御前崎市食のまちづくり条例の制定について	健康で豊かな市民生活及び食に関する産業の持続的発展を実現するため、市、市民、事業者、関係団体等が協働して取り組む「食のまちづくり」に関する基本理念、役割等を定めたもの	全員一致で可決
議案第29号	財産の取得について (御前崎市学校給食センター厨房機器一式)	御前崎市学校給食センター厨房機器一式の財産取得について契約を締結 契約額3億8,880万円 契約の相手方は「静岡アイホー調理機(株)」	全員一致で可決
議案第30号	工事請負契約の締結について (御前崎市立浜岡中学校校舎改築工事)	御前崎市立浜岡中学校校舎改築工事請負契約の締結 契約額37億224万円 契約の相手方は「佐藤工業(株) 静岡営業所」	全員一致で可決
同意第1号	御前崎市農業委員会委員の任命につき議会の同意を求めることについて	農業委員会委員に、山下智久氏、大松均氏、清水敏秀氏、植田長一氏、宮本耕治氏、渥美嘉之氏、吉村英治氏、松井善和氏、谷麻由香氏、福代登子氏を任命	全員一致で同意
発議第1号	産業廃棄物処理対策等調査特別委員会設置に関する決議について	総合開発計画策定特別委員会意見書（平成29年12月13日）記載の大規模企業進出（池新田地区産業廃棄物焼却・発電施設）に関し、計画の内容や課題について調査研究を行う特別委員会を設置する	全員一致で可決

◆賛否が分かれた議案

議案番号	案件・結果 (賛成=○ 反対=×)	議員名(議席順)															
		河原 崎恵 士	渥 美昌 裕	櫻 井勝	植 田浩 之	齋 藤洋	松 下久 己	水 野克 尚	大 澤博 克	若 杉泰 彦	大 澤満	増 田雅 伸	清 水澄 夫	杉 浦謙 二	阿 南澄 男		
議案 第10号	平成30年度御前崎市一般会計予算の補正(第5号)について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	※	○
議案 第11号	平成30年度御前崎市国民健康保険特別会計予算の補正(第3号)について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	※	○
議案 第12号	平成30年度御前崎市後期高齢者医療保険特別会計予算の補正(第1号)について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	※	○	
議案 第13号	平成30年度御前崎市介護保険特別会計予算の補正(第2号)について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	※	○	
議案 第15号	平成31年度御前崎市一般会計予算について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	※	○	
議案 第16号	平成31年度御前崎市国民健康保険特別会計予算について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	※	○	
議案 第17号	平成31年度御前崎市後期高齢者医療保険特別会計予算について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	※	○	
議案 第18号	平成31年度御前崎市介護保険特別会計予算について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	※	○	
議案 第19号	平成31年度御前崎市工業団地建設事業特別会計予算について	可決	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	※	○	
議案 第23号	平成31年度御前崎市池新田財産区特別会計予算について	可決	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	※	○	
議案 第24号	平成31年度御前崎市池新田西財産区特別会計予算について	可決	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	※	○	
議案 第25号	平成31年度御前崎市佐倉財産区特別会計予算について	可決	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	※	○	
議案 第26号	平成31年度御前崎市比木財産区特別会計予算について	可決	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	※	○	
議案 第27号	平成31年度御前崎市新野財産区特別会計予算について	可決	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	※	○	

※議長は採決には加われません。

新しい委員会を設置しました。

## 「産業廃棄物処理対策等調査特別委員会」

市議会は、池新田地区に進出を計画し、現在、環境影響評価（アセスメント）実施中の産業廃棄物等焼却による発電施設について、その計画の内容や課題について調査研究を行うため、平成31年3月20日に特別委員会を設置しました。

◎若杉泰彦	○河原崎恵士	阿南澄男	杉浦謙二	清水澄夫
増田雅伸	大澤満	大澤博克	水野克尚	松下久己
齋藤洋	植田浩之	櫻井勝	渥美昌裕	

◎委員長 ○副委員長

# 本 質 疑 議 会

水野克尚

【議案第7号について】

**問** 消防団員の定数を344名から333名に減らすのが根拠は

**答** 7分団は平成26年度から団員確保が厳しく欠員になっています。本年度17名、車両2台で運用し活動してきましたが、将来的に団員確保が見込めないため、定数27名から17名とするものです。

**問** 機能別消防団員は、出初式などの定例行事、訓練その他の基本団員が平常時参加する活動には参加しない規定だが、危険な業務なのに訓練を行う必要はないのか、機能別消防団員の活動内容を伺う

**答** 活動内容は、通常の火災や水害などの災害活動を想定しています。また、機能別消防団員は基本的に訓練を実施しないとの要綱で、消防団長が定めた場合は訓練できる要綱としています。

# 委 員 会 質 疑

総務経済委員会

平成31年3月7日に委員会を開催しました。委員会での質疑は次のとおりです。

【議案第3号について】

**問** 災害時要支援者が自分の個人情報公表してほしいと要請があった場合は開示するのか

**答** 災害時要支援者は、要配慮個人情報に定義されます。あらかじめ本人の同意がある場合は、開示できます。

【議案第7号について】

**問** 機能別団員の災害時の指揮・命令系統は消防団と同じ系統になるのか

**答** 基本団員の補完分として機能別団員を考えていますので、各分団に所属し、基本団員と同じく分団長の下での指揮、命令系統になります。

**問** 機能別団員の想定される年齢層は

**答** 部長、班長などを経験して退団した年齢の方を対象としていますので、30代から40代の方を考えています。

**問** 50代は対象から外れるのか

**答** 年齢制限は、18歳以上で上限はありませんが、強固な身体で支障なく災害活動ができる方なら構いません。

**問** 何名くらいを想定しているか

**答** 昨年の欠員から計算すると30名前後を想定しています。

**問** 今回の改正は一時的なもので、5年後には、また体制を変えないといけないと思うがどう考えているのか

**答** 5年後には4方面隊8分団の体制で運用を開始したいと考えています。



## 文教厚生委員会

平成31年3月7日に委員会を開催しました。委員会での質疑は次のとおりです。

【議案第5号(こいつい)】

**問** この条例は、高額所得者に対する引き上げですが、いずれは低所得者に対する引き上げに繋がらないか

**答** 国保税の賦課限度額の改正ですので、将来、低所得者の引き上げに影響することはありません。

【議案第6号(こいつい)】

**問** 経験年数により資格を取得しているのか

**答** 経験年数は10年以上となりますが、経歴により異なり、大学などを卒業している者は、3年以上で資格を取得することができます。

**問** 土木系、衛生工学の大学を卒業した者も監督者になれるのか

**答** そのとおりです。



## 文教厚生委員会

### 意見交換会

# 池新田高校 存続に向けて!!

今年度100周年を迎える池新田高校と横須賀高校が、県の新構想高等学校計画により2026年度を目途に統合されようとしています。それに伴い、平成31年3月7日に、文教厚生委員会委員、池新田高校関係者(評議員・同窓会)が意見交換をしました。

同窓会から、県教育長へ今後の池新田高校のあり方に対する要望や意見書を提出したなど現在の活動状況について報告がありました。議員からは、地域の特色を生かした学校づくり、市民を巻き込んだアクションを起こすべきなどの意見が出されました。今後、議会、市、池新田高校同窓会の3者が連携し池新田高校存続を目指すことで一致しました。

# 一般質問

## 9名が登壇 市政を問う

\*この一般質問は3月4日に行われたものです。

### 一般質問

#### ・防潮堤について

#### 問

東日本大震災では、海岸の防潮堤や防災林を越える大津波が発生し甚大な被害をもたらした。静岡県では、「静岡モデル」として、静岡県特有の課題への解決策として、最大クラスの津波であるレベル2の津波も含め、できる限り被害を最小化することとしているが、御前崎市での防潮堤の整備状況と課題は

#### 答

東日本大震災の甚大な津波被害を教訓に、静岡県では第4次地震被害想定を策定し、甚大な被害をもたらす最大クラスレベル2での津波に対して、自然現象の想定結果と、人的・物的被害などが示されました。

現在、中東遠地域で実施されている「静岡モデル」と呼ばれる防潮堤整備は、松枯れした海岸防災林の再生を目的とした県が施工する治山事業と、各市が施工する堤体盛土とが協働する「ふじのくに森の防潮堤づくり事業」として実施されています。

本市の海岸防災林は、松枯れし

ていない、いわゆる枯損していない防災林が多く、現在の方法では実施が困難でしたが、県が国と協議を続けた結果、枯損していない防災林でも要件が満たされれば、治山事業で実施できる方向性が示されました。

また、本市の海岸は防災林の幅の狭い所が多く、地形的な課題もありますが、防潮堤整備については、現在詳細な課題や問題点の洗い出しなどの調査を実施していますので、その結果を踏まえ実施の可能性を探っていきます。



整備された防潮堤



阿南澄男

一般質問

・公民館のあり方について  
・スポーツ少年団指導者について



渥美昌裕

**問** 公民館あり方検討委員会の進捗状況と、市のあり方の考え、方向性はいつを目途に結論を出すのか伺う

**答** 市の公民館は、社会教育事業の教育・学習の場に加え、地区防災・福祉・コミュニティの場として、多様化する市民ニーズに対応することを目的に、関係部局及び地区公民館と協議を行い、2020年4月を目途に、公民館からコミュニティセンター(仮称)へ役割を変えていきたいと考えています。来年度には関係条例の整備、住民への丁寧な説明と広報をしていきます。

各地区の現状も違うため、地域の皆様に負担が生じないように、可能な地区から取り組んでいきたいと考えています。

**問** スポーツ少年団指導者に対する市としての考えを伺う

**答** スポーツ少年団は、御前崎市体育協会内に組織し、それぞれが熱心な指導者のもと



新野公民館

自主的に活動し、学校教育とは違った側面で、子供達を育成していただいていることには、大変感謝しています。市としては、体育協会への補助金の中に大会参加費、備品費、指導者の報酬などにあてるため、少年団への育成費を配分しています。また、団の活動で市内体育施設を利用する場合は、一部の照明料を除き使用料を全額免除し、活動しやすい環境を提供しています。

一般質問

・市の基準地価低迷について  
・エネルギー構造高度化・転換理解促進事業の活用状況について



齋藤 洋

**問** 昨年9月に公表された県内基準地価の概要で、「市内の平均価格が県内市町の中で最下位」との新聞報道に対する考えは

**答** 本市の基準地価を過去に遡って確認したところ、昭和の時代から基準値平均単価は県内でも低く、昨今の状況で急激に低下したものでないことが確認できました。

**問** 基準地価の低迷は、津波浸水予想区域住民への高台移転策の遅れ、原子力災害に対する対応策の遅れに原因があるのでは

**答** 津波対策については、本市の津波避難計画方針書に基づき、浸水区域内の住民に対する避難対策として、ハード整備及びソフト対策を進めており、高台移転対策は考えていません。

また、原子力災害対応策についても、現在作成してある原子力災害広域避難計画の実効性をさらに高めるよう、県、関係自治体及び関係団体と連携を図りながら進めています。

**問** 南海トラフ地震特別措置法ができてから5年が経つが、その間に、津波浸水予想区域住民に対し、アンケート調査などは実施したか

**答** 実施していません。

**問** 「エネルギー構造高度化・転換理解促進事業」交付金の今年度の活用状況及び来年度活用予定は

**答** 今年度は御前崎総合病院、総合保健福祉センター、浜岡東小学校及び御前崎小学校の4施設に太陽光パネルと蓄電池を設置しました。また、「エネルギーのまち観光事業基礎調査」と「燃料電池給電システム事業化可能性調査」を実施しました。

来年度は、第一小学校、浜岡北小学校への太陽光発電パネルと蓄電池設置を予定しています。また、前述の2件の調査に基づく、実施計画策定業務委託を考えています。

一般質問

・幼児教育について

**問**

幼児教育無償化による保育需要についての考えは

**答**

無償化は、家庭の経済的な負担を減らしつつ、全ての子どもたちが質の高い教育を受けられることを目的としています。無償化により、幼稚園などの短時間の預かりから、保育園などの長時間の預かりへの利用区分の変更も含め、今後保育の需要が増えることが考えられます。

また、女性の社会進出による共働き世帯の増加、核家族化の進展によって、祖父母に子供を預けることが難しい家庭が増えていくことなどにより、さらに保育の需要は高まると思われれます。今後、幼稚園教諭・保育士の確保、施設整備、運営など受入体制の整備にむけて、関係機関と調整を図っていきます。

**問**

幼稚園教諭・保育士の募集状況は

**答**

人員確保が大変困難な状況です。31年度新規採用幼稚園教諭・保育士は5名です。そのためハローワークを通して臨時職員を募集するとともに、各方面に呼び掛け、人員確保に努めます。



櫻井 勝

**問**

これからの保育施設の考えは

**答**

幼児教育無償化に伴い、より長時間の保育を希望する保護者の増加が予想されます。働く保護者のニーズに沿った幼稚園の預かり保育を充実させるとともに、乳幼児の受け入れを拡大するために、現存の幼稚園を認定こども園化していくことを研究していきます。また、御前崎こども園の乳幼児棟、白羽保育園の園舎の老朽化に伴い、新たな園舎の建設も視野に入れ、市民のニーズにあった園のあり方について研究していきます。



一般質問

・町内会長等各地区役員の業務について

**問**

平成28年12月の一般質問で、町内会長の業務について質問しました。その答弁で「公民館あり方検討委員会」で、公民館のあり方や運営方法、公民館が現在行っている事業内容の整理などを検討している。併せて町内会長の業務を見直し、業務の負担軽減ができるよう検討するとの答弁でした。あれから2年ほど経過したが、業務の負担軽減がされた実感があまりありません。町内会長業務の見直し、負担軽減への検討状況を伺う

**答**

町内会長の負担軽減策として、会議や式典への出席回数削減、回覧物の削減について検討しました。まず、会議の回数削減は、「町内会長関連会議スケジュール表」を作成し、各部署で情報を共有し、複数の会議をなるべく同日開催できるように取り組みました。

次に、入学式などの式典については、その学区内の全ての町内会長に対し出席を依頼していました

が、輪番制に変更するよう各学校へ依頼しました。

回覧物については、各戸配布していた物は一部を除いて原則班回覧とし、広報おまえぎきの「情報掲示板」への掲載とケーブルテレビの音声告知放送を有効活用していくこととしました。今後、回覧物を減らすことができれば、月2回の回覧配布を1回にするなど、検討していきたいと考えています。



植田浩之



回覧箱

一般質問

働き方改革について



松下久己

**問** 従来型の働き方の見直しについて伺う

**答** 平成30年3月に改定した「御前崎市特定事業主行動計画」に基づき、年次休暇の取得促進や時間外労働縮減に向けた取り組みを推進し、週休日の振りかえ徹底、ノー残業デーの実施、時差勤務出勤やペーパーレス会議などワークスタイルの見直しを実施してきました。

**問** ワークライフバランスの実現はできたのか

**答** 1月に、菊川市と協働でイクボス宣言を実施しました。また、職員が心身ともに健康で元気に職務を遂行できるように、平成30年4月から毎月1回「職員何でも相談」を実施するとともに、メンタルヘルス研修やストレスチェックなど、職員の心理的なサポートを推進しています。

**問** 支援制度の充実について伺う

**答** 育児休業や共済組合による給付など、仕事と家庭の両立を支援するため既存諸制度の周知、妊娠中及び出産後における業務軽減措置、意識改革などを実施しています。また、来年4月から施行される会計年度任用職員制度により、臨時職員や非常勤職員の身分保障、勤務条件や給与処遇などの改善を行い、非正規職員のモチベーションや生産性を向上させることで、正規職員の負担軽減、行政サービスの向上に努めます。

**問** 長時間労働の是正は断行できたのか

**答** 法改正に伴い、御前崎市職員の勤務時間、休暇等に関する規則を一部改正し、原則1ヶ月45時間、1年360時間を上限にするなど、規則の整備を行っています。今後は、特定事業主行動計画に基づく取り組みに加え、国や他の自治体の取り組み事例を参考に、職員の働き方改革を進めていきます。

一般質問

中小企業などへの振興について  
中小企業・小規模企業振興  
基本条例の制定について



水野克尚

**問** 中小企業・小規模企業は国の99%、従業員の7割で、日本の経済の基礎を形成しています。東日本大震災後、原発の停止から市の経済低迷が始まり、年々悪化しています。中小企業・小規模企業が活性化策、振興策は

**答** 「企業立地奨励補助金」、「設備投資促進事業費補助金」があります。市単独の支援は「御前崎市企業誘致並びに市内企業育成資金利子補給金」があります。

**問** 中小企業にはあるが小規模企業への制度は「利子補給金」と「電源立地給付金」しかない。これでは振興策があるとは言えないのでは

**答** 後継者不足も問題です。で、その事業者の後継者をどう育てていくのか、この問題に取り組んでいきます。

**問** 静岡県では中小企業・小規模企業振興条例を制定しま

した。これを機に近隣の掛川市、菊川市、牧之原市などでも制定するように総合的に推進していきます。御前崎市における中小企業・小規模事業振興条例についての考

**答** 中小企業や小規模企業は、経済を支える大変重要な存在であり振興に関する姿勢を明確にする必要があります。関係機関と協議を重ね、中小企業・小規模企業への支援活動に努め、合わせて条例制定に着手したいと考えています。

**問** 条例制定はスピード感が大切です。今後のスケジュールは

**答** 関係機関と協議を重ね条例の手続きを調整します。



静岡県  
振興基本条例

一般質問

・地域防災について  
 ・(仮称)御前崎リサイクル  
 エネルギープラザについて



河原崎 恵士

**問** 防災訓練時に医療機関との連携は

**答** 平成30年12月の地域防災訓練で御前崎総合病院を会場に救護所運営訓練を実施しました。今後、方面隊や自主防災会と連携した訓練を計画します。

**問** 複合災害を想定した訓練は

**答** 県と連携し、調整・協議していきます。

**問** 方面隊と防災指導員の役割は

**答** 方面隊は地区内の自主防災会の総括や災害対策本部との連携、広域避難所の開設・運営などです。防災指導員は、方面隊、自主防災会の育成に関することなどです。

**問** 災害時の要配慮者対応は

**答** 個人情報提供に同意した方のみ、個別計画を作成し、

自主防災会長と民生児童委員に支援をお願いしてあります。

**問** 災害時の電源確保手段への支援策は

**答** 既存の補助金制度を踏まえ検討します。



御前崎総合病院での地域防災訓練の様子

**問** (仮称)御前崎リサイクル エネルギープラザの説明会

**答** 実施は説明会開催を要請していますが現在は実現されていません。企業努力で実施していただけるものと認識しています。

一般質問

・大栄環境エネルギープラザ  
 誘致問題について  
 ・原発問題について



清水 澄夫

**問** 市から議会に提出されている浜岡砂丘、河津桜夜桜見物構想は、誘客として理解するが、その西側には巨大な産廃処理施設の誘致が進められている。観光地として進めるなら産廃処理施設の誘致は白紙に戻すべきでは。また、高松地区、比木地区のタウンミーティングで参加者から産廃問題の意見が多数出されたが、市の広報誌にはこの内容が一切掲載されていないが理由は

**答** これは当該企業の進出であり、市が誘致したものではありません。そもそも本市に「誘致計画」は存在しません。広報おまえぎきに高松地区と比木地区で発言のあったエネルギープラザに対する内容を掲載していない理由は、本年度開催した市政懇談会は、市の重要施策「シティプロモーション」、「御前崎の教育」の2つのテーマで開催しました。この2点についていただいた意見を広報おまえぎきに掲載しました。

**問** 1、2号機の廃炉に伴い排気筒の解体準備が進められているが、排気筒には放射能が含まれ、解体によって放射能が拡散する可能性がある。放射能の影響がなくなるまで解体を中止するよう中部電力(株)に求めるべきでは

**答** 排気筒の解体撤去工事を実施するにあたり、「放射線管理を適切に行うとともに、放射性廃棄物の低減に努め、安全最優先で工事を進めていく」との説明を受けています。

**問** 福島事故の悲惨さを考えれば、4市の安全協定は見直す時期にきている。その議論を4市の勉強会ですべきでは

**答** 原子力施設の変更などに係る許認可・監督・指導の権限が全て国にあることから、現在、県及び4市が締結している協定は妥当なものであり、本市としては安全協定の見直しは考えていません。

# 委員会報告

## 予算決算審査 特別委員会

平成31年3月11日から12日まで委員会を開催し、意見書を付し全18議案を可決しました。主な意見、答弁は次のとおりです。

### 〈30年度一般会計補正〉

- 問** 地域おこし協力隊採用者は事業性や将来性が低かったので採用はありませんでした。
- 答** 事業性や将来性が低かったので採用はありませんでした。
- 問** 市道整備は補助金が付かなくとも原子力防災上進めるべきでは
- 答** 区切りのよいところまで市費を投入しています。

その後の委員会討議では次の意見書提出が決定しました。

**【建設課】**

市道整備事業において、社会資本整備総合交付金の減額などにかかわらず市費充当分の整備を行うよう求める。生活環境整備

事業に関して、半期において不用額の見込みを報告するよう求める。

### 〈31年度一般会計〉

- 問** 休職中の職員へのケアは
- 答** 面談し復職プログラムの提示をしています。
- 問** C A T Vの安価な料金設定はできないか
- 答** 現況サービスの維持について交渉中と聞いています。
- 問** 調整基金繰入は減額、市債は増額だが努力したか
- 答** 繰入金より有利のため市債を利用しました。
- 問** 台風の停電で同報無線のバッテリーが切れたが今後の対応は
- 答** 電気事業者と協定を結び電池交換を依頼します。
- 問** 親元就農の補助金調査状況は
- 答** 県補助金は非該当でしたが、J Aで該当するものがあります。
- 問** 企業誘致に伴う人材確保は
- 答** 1日ハローワークや面接会を実施しています。
- 問** ラグビーワールドカップの費用対効果は
- 答** 6千2百万円の費用で3億4千万円の効果見込みです。

**問** 御前埼灯台周辺整備は

**答** 来年度に土地を購入し整備します。

**問** 市独自の標準学力テストとは

**答** 小学2年生から5年生が受ける業者学力テストです。

その後の委員会討議では次の意見書提出が決定しました。

### 【企画政策課】

デマンドバスなどの研究・検討に努めるよう強く求める。

### 【こども未来課】

保育士の確保に最善を尽くすよう強く求める。

学童保育支援員の増員を求める。

### 【商工観光課】

ラグビーワールドカップ公認チームキャンプ地運営事業については、全庁をあげて費用対効果が表れるよう求める。

### 【管理課】

市営住宅の維持管理を適切に行うよう求める。

### 【介護保険特別会計】

**問** 高齢者が安心して制度が受けられる体制は

**答** 一人暮らしや低所得者は特養へ特例入所できます。軽度者は在宅サービスとなります。

### 【工業団地建設事業特別会計】

**問** 工業立地計画策定業務委託の内容は

**答** 池新田工業団地の計画変更や新野工業団地候補地の地質調査です。

### 【財産区特別会計】

**問** 公民館への補助が地方自治法の主旨にそぐわないので県の監査を求める

**答** 平成27年に県の監査を受け、正式回答を得ていないため、再度確認します。

## 原子力対策 特別委員会

平成31年3月14日に委員会を開催し、浜岡原子力発電所の状況について、中部電力(株)より報告を受けました。その後、クリアランス測定装置を視察しました。

1 4号機適合性確認審査の状況について

中部電力(株)は、原子力規制委員会の審査会合で、プレート間地震と連動して起こる内陸地震を重ね合わせて評価することを国へ説明しました。国からは、「連動において破壊の伝わり方の妥当性を示

すように」とコメントを受けた、と報告がありました。

## 2 1、2号機廃止措置の状況について

現在、廃止措置の第2段階で、主にタービン建屋内の設備の解体工事を進めており、解体の進捗状況は計画どおりに進んでいる、と説明を受けました。また、第3段階に原子炉圧力容器などの解体作業を実施するために「作業員の被ばく低減」、「放射性廃棄物量の低減」を目的とした、原子炉圧力容器などの化学除染を行っている、と説明を受けました。

## 3 クリアランス測定装置の視察について

1、2号機の廃止措置に伴って発生するクリアランス物を測定する機器を視察しました。クリアランス物は、放射性廃棄物のうち、放射性物質の濃度が極めて低く、人への影響がほとんどないものについて、国の許可、確認を得て一般の廃棄物として処分できます。



クリアランス測定装置

# 総合開発計画策定 特別委員会

平成30年3月14日に委員会を開催し、内容は次のとおりです。

## 1 新給食センター建設について

3月6日に新給食センターに導入する厨房機器及び設計のプロポーザル審査を行い業者を決定しました。審査では、ランニングコスト、厨房機器の能力、近隣市町への導入実績などを考慮し業者を決定した、と報告を受けました。

## 2 浜岡中学校校舎改築について

3月8日にプロポーザル審査を行い業者を決定しました。校舎棟の完成は2021年2月、外構を含めたグラウンドは7月完成予定です。地元企業へは、入札予定額の30%を発注する計画になっています。

**プロポーザル審査とは**  
複数の者に建物に対する企画を提案してもらい、その中から優れた提案を行った者を選定すること



浜岡中学校新校舎完成予想図

## 3 第2次御前崎市総合計画（実施計画）及び財政計画見込みについて

31年度の実施計画を策定するにあたり10%を限度に予算を削り、削った10%の財源を新規事業や重点事業などへ振り分けし、事業にめりはりをつける取り組みをしました。また、3年間の財政計画見込みについても説明を受けました。

## 4 エネルギーのまちづくりについて

「未来をつなぐエネルギーのまち御前崎」を目指し、既存の原子

力発電、大型風力発電などのエネルギー施設を活用しながら、市の特性に合致した新たな再生可能エネルギーを導入します。また、既存の観光資源・地域資源を活用しエネルギーテーマパーク化を進めていきます。

## 5 産業廃棄物処理施設について

池新田地区に建設予定の産廃処理施設について事業者から概要や現状について説明を受けました。現在は、住民、市長及び県知事の意見を踏まえた環境アセスメント（環境影響評価）の現地調査が実施されています。

## 6 火葬場整備事業について

候補地選定の経緯について、市長から報告を受けました。火葬場の候補地は、検討委員会から提出された報告書の内容に沿って、市の幹部職員が、15ヶ所の候補地エリアをあらゆる視点で評価し5ヶ所に絞り込み、最終的に市長が選定する予定でした。しかし、市が最有力候補地と考えていた佐倉地区の市有地周辺にお住まいの皆さまから、大変厳しい意見があったため、現時点では候補地にできる状況にないとの報告を受けました。

# 視察研修

## 文教厚生委員会①

視察日 平成31年1月15日(火)

### 視察先及び内容

○市立御前崎第一小学校

1月末の視察研修に向け、市内教育現場におけるICT活用状況について第一小学校1年生の授業を視察しました。どの教室にも大型テレビが整備され、デジタル教科書を映し学習をしています。生徒が電子機器に直接触れ書き込むことができる電子黒板も各学年に1台整備されています。また、各校にタブレット端末が40台整備され、普通教室以外にも体育や理科など幅広い教科で使用していると説明を受けました。



電子黒板の授業風景

## 文教厚生委員会②

視察日 平成31年1月28日(月)

30日(水)

### 視察先及び内容

○武雄市図書館(佐賀県武雄市)

市民生活をより豊かにする図書館を目指し、平成25年に指定管理者制度を導入、新図書館を建設しました。年中無休で午前9時から午後9時まで開館し、雑誌販売、カフェ・ダイニングの導入など新しい図書館づくりに取り組んでいると説明を受けました。



武雄市図書館

○ICT教育(佐賀県武雄市)

主体的・対話的で深いまなびの実現を目指し、ICT教育に力を入れています。小中学校の児童生徒に1人1台タブレットを配布し、授業以外にも家で動画を活用した予習ができるようにしています。また、プログラミング教育やオンライン英会話なども積極的に進めていると説明を受けました。

○太宰府市公文書館

(福岡県太宰府市)

市の行政文書や太宰府地域に関する資料の収集、整理、保存、資料の閲覧や歴史講座の開催など利活用に関する業務を行っています。また、太宰府の歴史、社会、文化など多岐にわたる分野での研究をしていると説明を受けました。

○岡山県立図書館(岡山県岡山市)

入館者数、貸出冊数が都道府県立で13年連続1位の図書館です。サービス部門を充実させ専任職員によるレファレンス体制をとっています。また図書館ネットワークを構築し、市町村図書館や大学図書館の本を検索し借りることができ相互貸借システムがあると説明を受けました。



武雄市 ICT 教育の説明風景



太宰府市公文書館



岡山県立図書館

# 6月定例会の予定

6月定例会は、6月3日(月)から6月27日(木)までの25日間の会期で開催される予定です。  
日程は、変更になる場合がありますので、事前に議会事務局までお問い合わせください。

- 6月 3日(月) 本会議(議案説明)
- 13日(木) 本会議(質疑・一般質問)
- 14日(金) 本会議(一般質問)
- 17日(月) 総務経済委員会  
文教厚生委員会
- 18日(火) 予算決算審査特別委員会
- 19日(水) 特別委員会
- 27日(木) 本会議(質疑・討論・採決)



御前崎市マスコットキャラクター  
ふうちゃん

問い合わせ先

## 御前崎市議会 議会広報特別委員会(議会事務局)

〒437-1692 静岡県御前崎市池新田 5585  
TEL(NTT・CATV): 0537-85-1115 / FAX: 0537-85-1139  
E-mail: gikai@city.omaezaki.shizuoka.jp



御前崎市マスコットキャラクター  
なみまる

## 議会を傍聴しませんか?

- 市議会はどこでも傍聴することができます。傍聴定員は34名です。超過した場合は別室でのテレビ傍聴となります。
- 耳の聞こえにくい方のためにイヤホン型の補聴支援用機器があります。
- 事前予約は必要ありません。当日、市役所4階議会事務局へお越しください。

## ◎傍聴に来られない方も市議会の様子をご覧ください!!

本会議・予算決算審査特別委員会の内容は、おまえざきケーブルテレビの市民チャンネルのデジタル122チャンネルで放映されます。放送日については、その都度、音声告知放送にてお知らせします。

## 市民の皆様の声をお寄せください

- 議会だより作成や編集に役立てるため、議会だよりの感想をお聞かせください。電話・FAX・郵送・Eメールで受付します。
- ◇住所・氏名・電話番号を明記してください。
- ◇お便りの返却はいたしません。

### 議会のひかり

3月					2月					1月																				
25日	201815日	14日	12日	11日	7日	4日	1日	22日	2019日	15日	14日	13日	8日	7日	6日	5日	4日	1日	31日	30日	28日	24日	22日	21日	17日	16日	15日	7日		
議会全員協議会	議会全員協議会	議会運営委員会	大井川広域水道企業団運営協議会	原子力対策特別委員会	総合開発計画策定特別委員会	予算決算審査特別委員会																								

編集  
議会広報特別委員会

委員長 松下久己 副委員長 櫻井勝 委員 大澤博克 河原崎恵士 植田浩之